



よこはま



URL <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>



Photo:北富士演習場から観る霊峰富士

◇目次◇

- 1 第12回防衛問題セミナー開催、在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- 2 北富士演習場で104移転訓練を実施
- 3 「自衛隊山梨地方協力本部」の紹介
- 4 5機関合同震災対策図上訓練を武山駐屯地で実施
- 5 南関東防衛局で頑張る防衛事務官・技官
- 6 関係自治体だより
特集：住宅防音工事について（厚木飛行場関係）

編集企画：南関東防衛局 広報紙「よこはま」編集委員会
発行：南関東防衛局 総務部報道室 Tel 045-211-7129
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎

第12回防衛問題セミナー開催

テーマ:北朝鮮と我が国の安全保障

～「北からの脅威」と空の衛り人～

場 所:浜松市「浜松プレスタワー17階 静岡新聞ホール」

開催日:平成21年10月20日(火)

講 師:静岡県立大学伊豆見 元 教授、航空自衛隊浜松基地第2術科学学校長小野賀三 空将補



講演中の伊豆見教授



講演中の小野学校長

浜松市の浜松プレスタワー17階静岡新聞ホールにおいて、「北朝鮮と我が国の安全保障」をテーマとして、第12回防衛問題セミナーを開催しました。今回は、静岡県立大学の伊豆見教授、航空自衛隊浜松基地第2術科学学校長小野空将補を講師に迎えて行われ、最近の北朝鮮情勢や弾道ミサイル防衛について広く国民に知ってもらおうのが目的であり、200人近くの市民らが参加しました。

本セミナーでは深山南関東防衛局長の挨拶に続いて、伊豆見教授から「北朝鮮の動向と北東アジアの安全保障」について、また小野学校長から「航空自衛隊ペトリオットPAC3と安全保障」について、北朝鮮の核の脅威、弾道ミサイルの脅威など、現在の緊迫しているこれら情勢を専門家の意見を交えながらの説明と弾道ミサイルからどのように日本を防衛するかについて、空を衛る経験者から分かりやすい説明がありました。

在日米軍従業員永年勤続者表彰式

10月28日、座間市のハーモニーホール座間において、座間地区の平成21年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。この表彰式は、永年にわたり在日米軍基地に勤務する従業員の労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図るため日米の共催により毎年実施されています。本年は、勤続10年表彰110名、20年表彰61名、30年表彰14名、40年表彰3名の合計188名の方々が受賞されました。

深山南関東防衛局長及び在日米陸軍ワシンスキー司令官から代表者11名に表彰状と記念品が授与され、来賓紹介、遠藤座間市長の祝辞等があり、最後に勤続30年を迎えられた相模総合補給廠勤務の中村信一氏が受賞者を代表して挨拶を述べられました。

このほか、10月16日に富士地区で、また、10月22日に横須賀地区で永年勤続者表彰式がそれぞれ開催されました。



座間地区



座間地区



富士地区

北富士演習場で104移転訓練を実施

在沖米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施が北富士演習場で平成21年11月2日～11日までの10日間行われました。

今回の訓練には在沖米海兵隊第12海兵連隊第3大隊の1個砲兵大隊（連隊長はキール・ジェントリー大佐、大隊長はショーン・ウェスター中佐）で約340人が参加し、車両約80両、砲5門により訓練が行われました。また、地元関係者や報道機関に対して、11月6日、155ミリ榴弾砲の実弾射撃訓練を公開しました。

地元関係者や警察関係者のご協力及び自衛隊の支援により無事に訓練が終了しました。また、射撃訓練終了後、海兵隊員によるボランティア活動が神奈川県・静岡県の2つの養護施設で行われ、学用品のプレゼントやピアノを弾いたり、子供達と遊んだりして交流が行われました。海兵隊員の中には、遠く母国を離れ家族とのふれあいもできない者もあり、施設の子供達を自分の子供のように接して楽しむ姿が印象的でした。



小火器の展示・説明



深山南関東防衛局長に状況説明する
梨ヶ原対策本部高橋総括室長



ブリーフィング状況

(米) 第12海兵連隊長ジェントリー大佐、
第3大隊長ウェスター中佐
(日) 現地対策本部長代理伊藤地方調整
課長、総括室長高橋環境対策室長



155ミリ榴弾砲実弾射撃！



実弾射撃訓練陣地を視察する深山局長



ボランティア活動
(神奈川県内養護
施設訪問)



ボランティア活動(静岡県内養護施設訪問)

「自衛隊山梨地方協力本部」の紹介

自衛隊山梨地方協力本部（略して山梨地本）は、甲府市に本部を設置して、防衛省・自衛隊の広報、自衛官や防衛大学校学生等の募集・採用、退職自衛官の再就職サポート、予備自衛官の採用・管理、災害時における地方自治体等との連絡業務などを任務として活動しています。本部のほかに、自衛官等募集の広報活動拠点として、甲府市、大月市、南アルプス市に事務所をおいています。

山梨県内に所在する自衛隊は、県南の忍野村に陸上自衛隊の駐屯地が一つあるのみで、県全般としては自衛隊に対する認識がやや薄い土地柄です。そんな中、山梨地本の部員50名は、防衛省・自衛隊の真の姿を知っていただくために、県庁や市町村役場、大学や高等学校、様々な企業などを日々飛び回り県民の皆様のご理解・ご協力を得るべく奮闘しています。

一度、山梨に来（こ）ーし！（来て下さい）

（自衛隊山梨地方協力本部）

<http://www.mod.go.jp/pc/yamanashi/>

本部長略歴等

階 級：1等陸佐

氏 名：池原 伸浩（いけはら のぶひろ）

出 身：岐阜県

前配置：第2施設群長

（飯塚駐屯地（福岡県飯塚市））

現配置：H21.3.24～



自治体主催の防災訓練
に参加



高校学園祭で広報
ブースを設置



地本出陣式で達磨に目
玉を入れる本部長



各種採用試験を実施
（防衛医科大学校1次試験）



即応予備自衛官の訓練を訪問・激励



高校で航空学生等の
説明を行う募集課長

5機関合同震災対策図上訓練を武山駐屯地で実施

11月17日（火）、自治体や警察及び自衛隊による災害時の連携態勢について
地図上で検証



情報を整理する
第31普通科連隊



情報の報告



訓練に参加した
各機関の参加者



情報を整理する職員



訓練後の検討会

11月17日（火）、横須賀市の陸上自衛隊武山駐屯地（体育館）において、横浜市、川崎市、神奈川県、神奈川県警、自衛隊の5機関が、災害時の連携態勢について検証する合同震災対策図上訓練が行われました。

この訓練には関係者約380人が参加しました。南関東防衛局（10名）も昨年に続き参加しました。

この訓練の目的は、大規模地震等が発生した場合、災害対策基本法に基づき横浜市、川崎市に災害派遣される自衛隊との連携に関して、県・県警・市・区本部との連絡調整や災害現場における効率的な救助・救出活動を行うための任務分担及び担当範囲の設定等、関係機関相互の円滑な連携・協力体制のあり方などを重点的に検証するため、状況付与型の図上訓練を実施し、併せて迅速確実な情報伝達要領についても習熟を図るものです。

訓練では、午前10時頃、東京湾北部を震源とするマグニチュード（M）7.3の地震が発生し、神奈川県東部及び横浜市、川崎市で震度6強を記録したとの想定で行われました。

各機関はそれぞれのブースに設置された災害対策本部との電話連絡・資料の伝達をしたりして情報を収集していました。横浜、川崎両市から県を通じて被災地への派遣要請を受けた自衛隊は、両市の区単位の災害対策本部と迅速な調整をして意思の疎通を図っておりました。

当局では県や横浜市等へLO（連絡員）を派遣して情報を収集し陸上自衛隊等へ連絡し、情報をボードへ整理しました。

最後に本日の訓練における各機関での検討会を実施し、その結果を各機関の統裁官へ報告して無事終了しました。

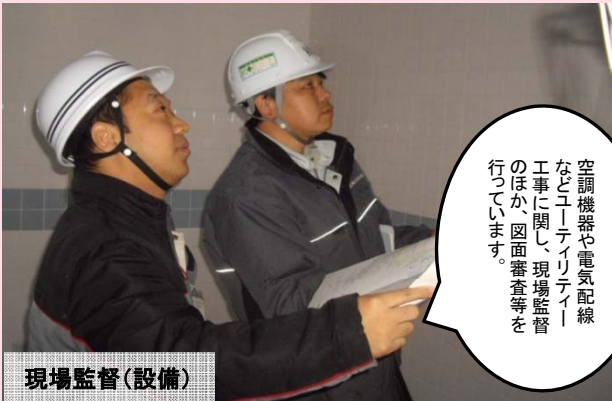
南関東防衛局で頑張る防衛事務官・技官

南関東防衛局は、防衛省の地方における防衛行政の拠点として、関係機関と連携し、地域の皆さんとの関係がさらに強化されるよう日夜努めています。

そして、当局の職員は自衛隊員ですが、自衛隊員として頑張っているのは自衛官だけではありません。事務官や技官がたくさん活躍しています。そこで、当局における主な業務をご紹介します。

■調達部(調達計画課、建築課、土木課、設備課、装備課)

自衛隊や在日米軍が使用する施設(滑走路、港湾、隊舎等)の建設工事(契約事務は除く)などの実施や自衛隊の装備品等(航空機、船舶等)の調達に伴う検査・監督及び原価監査などを行っております。



現場監督(設備)

空調機器や電気配線などユーティリティ工事に關し、現場監督のほか、図面審査等を行っています。



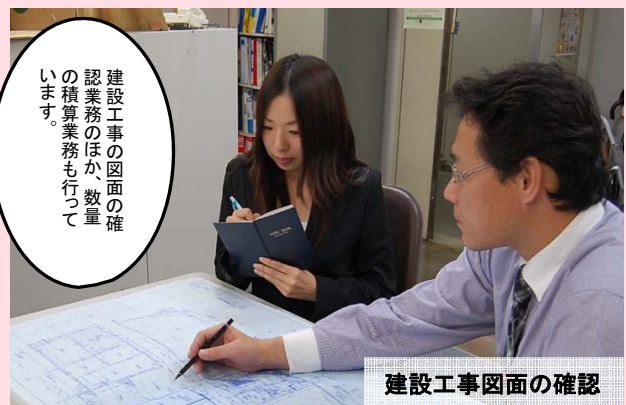
現場監督(土木)

地盤改良の状況を現場監督しています。そのほか、工事関係書類の審査業務等も行っていきます。



建設工事に係る関係機関との調整

建設工事に係る自衛隊部等との調整に關する様々な資料を作成しています。



建設工事図面の確認

建設工事の図面の確認業務のほか、数量の積算業務も行っていきます。

■管理部(業務課、施設補償第1課、施設補償第2課、施設管理課、施設取得課)

防衛施設の設置・運用などに伴い生じる損失補償、土地等の取得・管理・返還への対応などを行っております。



国有財産の管理

国有地の使用許可申請に對する事務手続や、現地に起き国有地にある境界柵や境界杭の設置状況を確認しています。



土地等の取得等事務

防衛施設の運用に必要な民公有地に關する賃貸借契約の書類などを作成しています。

■労務管理官

駐留軍労働者の雇用、労務管理、福利厚生などを行っております。

■総務部(総務課、会計課、契約課)

局内の総合調整、会計処理、情報公開・行政相談窓口、当局が発注する工事等の入札及び契約などを行っております。



職員の人事管理



会計経理



入札・契約

■企画部(地方調整課、施設対策計画課、周辺環境整備課、防音対策課、住宅防音課)

防衛省の施策の実施、防衛施設の運用(使用協定の更新、防衛施設の設置・返還、米軍訓練の分散・実施など)に伴う地元調整や基地周辺対策(河川整備、住宅防音事業など)を行っております。



自治体との連絡調整



米軍との渉外業務



飛行場周辺住宅の移転補償



防衛施設周辺の環境整備(道路整備事業)



住宅防音工事の図面・書類の審査



補助金等交付に関する事務

明るく元気なたくさんの事務官・技官が毎日一生懸命頑張ってます。どうぞよろしくお願いいたします。

関係自治体だより

忍野村は、富士山の北麓、山梨県の東南部に位置し、南に霊峰富士、東に石割山、北に杓子山の山岳に囲まれ、西は桂川の源がつくる谷間を境に、標高936mと高原山岳の盆地状を呈しております。人口は8,892人（平成21年10月1日現在）、面積は25.15km²、気候は大陸性で、北海道札幌市に類似しております。

昭和55年農村地域等工業導入促進法により最先端の工業技術を誇る産業用ロボット工場の誘致から村財政は健全化が図られ、地方交付税不交付団体へと転換を致しました。

平成13年4月、県内初的水族館として「県立富士湧水の里水族館」が開設、山梨県内の河川や湖沼に生息する淡水魚や水生生物、日本最大の淡水魚イトウやライギョ（カムルチー）を展示、また、山梨県水産技術センターとタイアップして絶滅危惧種の保存、繁殖に取り組んでおります。平成16年6月開設の「四季の杜おしの公園美術館」と併せ、山梨県公園化構想の一翼を担っております。

富士北麓の裾野には、山梨県と富士吉田市・山中湖村・忍野村の一市二村が権益を持つ約4,597haの北富士演習場が所在しております。防衛施設を抱える自治体としての課題や周辺住民の要望などを踏まえ、南関東防衛局に対し、村民が安全で安心できる生活環境について最大限のご尽力を頂きたいと思っております。

今後とも、北富士演習場が安定的に使用されますよう、今までと同様のきめ細かな取り組みを期待しております。

（忍野村 企画課 <http://www.vill.oshino.lg.jp/>）



忍野の風景



富士湧水の里水族館



整備された農道



富士に向かって流れる新名庄川

住宅防音工事について(厚木飛行場関係)

住宅防音工事の補助の対象となる住宅は、自衛隊や米軍の航空機の離陸、着陸等の頻繁な実施により生ずる音響により起因する障害が著しいと認めて防衛大臣が指定する防衛施設の周辺の区域（第一種区域）に、その指定の際、現に所在する住宅等（人の居住の用に供する建物又は建物の部分をいう。）が対象となります。

住宅防音工事は、住宅の所有者又は居住者の皆様方の申請に基づき行われる補助事業です。

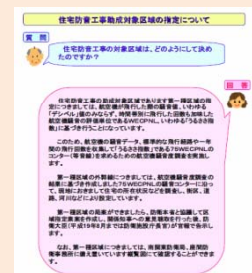
住宅防音工事の手続きは、飛行場ごとに決められた時期までに建てられた住宅の所有者又は居住者で、工事を希望される方が、南関東防衛局（住宅防音課）へ住宅防音工事希望届を提出することから始まります。

住宅防音工事の対象となる住宅の範囲については、次頁の地図を御参照下さい。「住宅のある地域はどこか」と「いつ建てられた住宅であるか」によって住宅防音工事の対象となるかどうか分かります。特に建築年月日については、公的書類（登記事項証明書など）によって確認された上で、住宅防音工事希望届を提出していただくようお願いします。

今後とも皆様方のご理解・ご協力をいただきながら、住宅防音工事の推進に努力してまいりたいと考えていますので、ご不明な点あるいはご質問等がございましたら下記の問い合わせ先におたずね下さい。また、皆様からの問い合わせ等、よくある質問については、ホームページに掲載していますのでそちらもご覧下さい。



南関東防衛局ホームページ内の住宅防音ページ



よくある質問の一例

●問い合わせ先
南関東防衛局 企画部 住宅防音課

TEL : 045-211-7113

URL : <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>

ただし、町田市における住宅防音工事に関しては、北関東防衛局が実施しております。下記までお問い合わせ下さい。

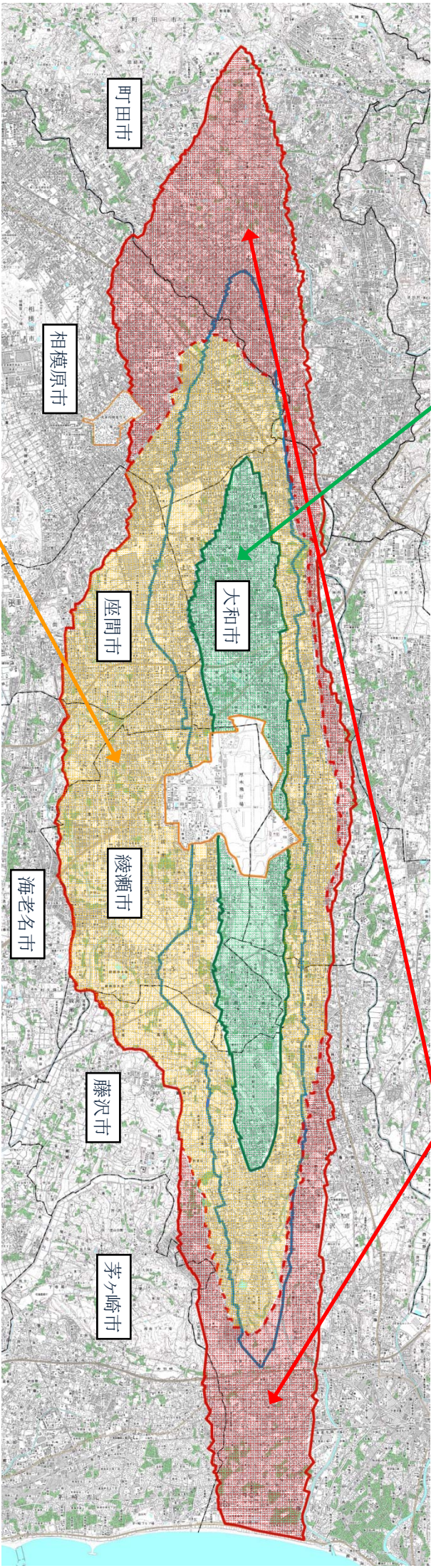
北関東防衛局 企画部 住宅防音課

TEL : 048-600-1821

厚木飛行場における第一種区域イメージ図

平成8年9月10日までに建築された住宅が対象です。(緑色箇所)

平成18年1月17日までに建築された住宅が対象です。(赤色箇所)
(ただし、赤色箇所において、青色の線の内側(厚木飛行場に近い箇所)及び高齢者、乳幼児等の方がお住まいの住宅は昭和61年9月10日までに建築された住宅、それ以外は昭和55年12月31日までに建築された住宅を対象に希望届の受付を行っています。)



昭和61年9月10日までに建築された住宅が対象です。(黄色箇所)

※ 建築年月日(事業実施にあたっては、登記事項証明書等の公的書類により確認します。)によっては対象とならない場合もありますので、南関東防衛局までおたずね下さい。
(町田市に関しては、北関東防衛局までおたずね下さい。)

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平17総復、第748号)」